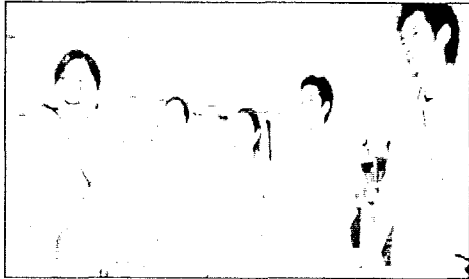


チーム医療の方向性と歯科医療

—医科・歯科の連携に向けて—



私たちは
チーム医療です

昭和大学口腔ケアセンター
向井 美恵

1

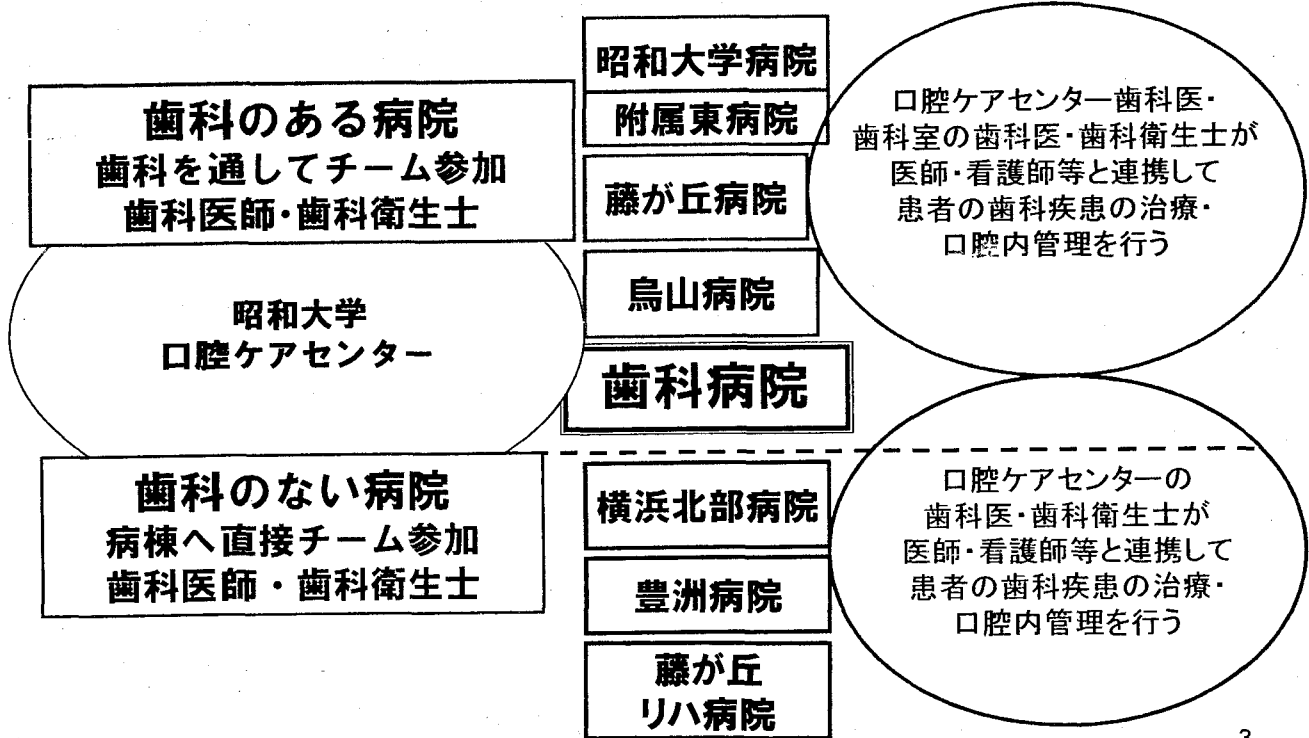
事例 1

(昭和大学)

2

チーム医療の例

医科歯科連携 当大学附属病院口腔ケアセンターのシステムと内容



3

医科歯科連携

チーム医療(院内・地域連携、学部教育)

当大学附属病院口腔ケアセンター

1. チーム医療の実践

大学付属8病院の入院患者様の口腔内管理(器質的ケア、機能的ケア)の徹底を図ることで誤嚥性肺炎や窒息事故等の発生を防止し、その後の医療を円滑に行うことに貢献するとともに、摂食・嚥下障害や口臭などに対する専門的な医療対応を病棟の医師、看護師、薬剤師等のスタッフの協力を得て行います。

2. チーム医療教育

医系総合大学の昭和大学へのチーム医療の教育の場として、病棟における口腔ケア等が昭和大学の学生及び臨床研修医等の研修・実習に資するものとしてします。

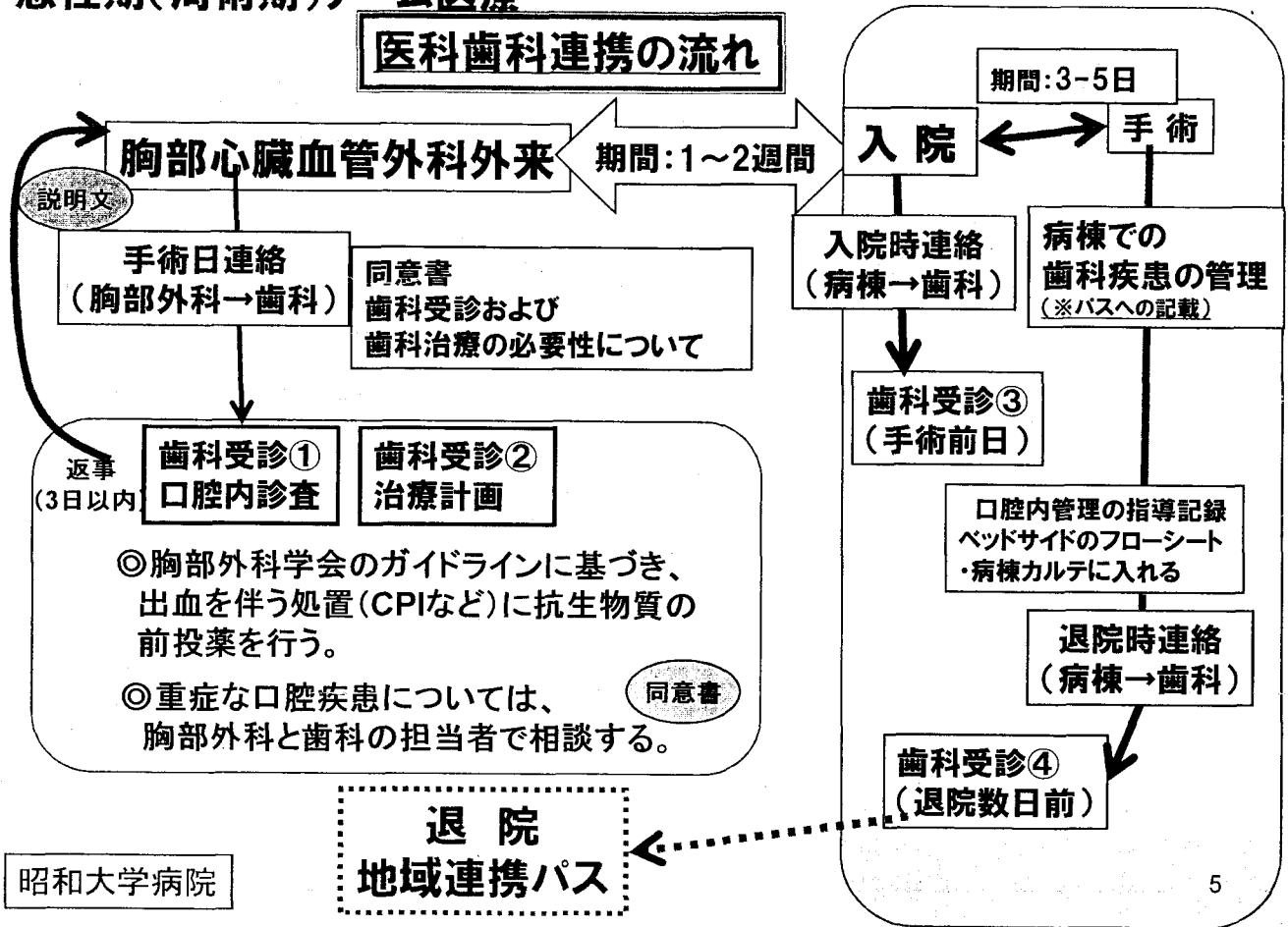
3. 地域医療連携

昭和大学4学部8病院のチーム医療の口腔ケアセンターが核の一つとなり、入院患者様の入院中のQOLの向上を目指しますが、同時に退院後も生活する場(在宅、施設など)における地域連携パスに繋ぎ、口腔の医療面からの地域医療に貢献します。

4

急性期(周術期)チーム医療

医科歯科連携の流れ



医科歯科連携

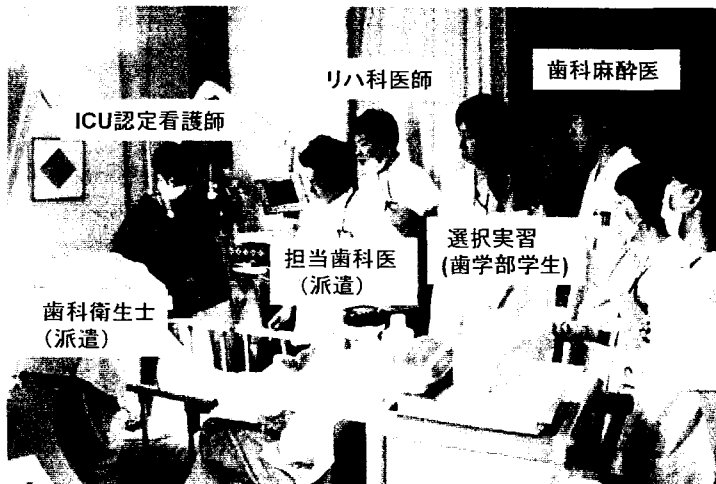
チーム医療

チーム構成職種

- ・ICU認定看護師(コア)
- ・リハビリテーション医師
- ・麻酔科・歯科麻酔医(研修)
- ・管理栄養士(NST)
- ・歯科医師、歯科衛生士(非常勤派遣)

チーム医療の場

- ・ICU
- ・麻酔科
- ・脳外科
- ・整形外科
- ・消化器病棟
- ・呼吸器病棟
- ・緩和ケア病棟





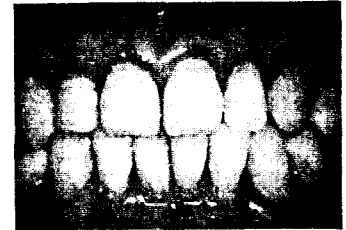
91歳女性(脳梗塞)



歯周治療前

歯周治療後

一般的な口腔清掃だけでは
歯科疾患に対応することが
できない！！

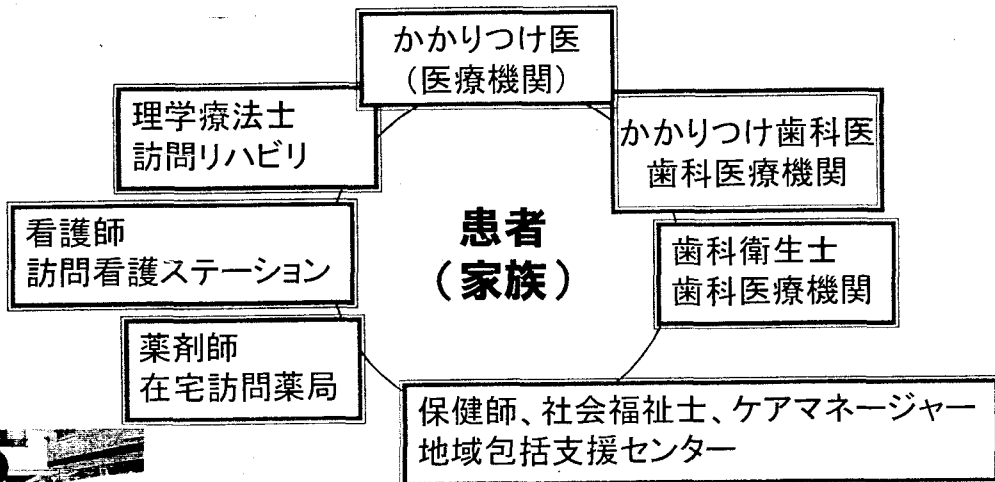


歯科衛生士でなくても歯みがきなどの一般的な口腔清掃であれば可能である。しかし、歯石を取るなど器機を用いた専門的な口腔清掃は歯科疾患に対する歯科医療行為であり、歯科医師の指示が必要となる。したがって、歯科医師がチーム医療に参画しなければ、歯科衛生士は歯科専門職としての専門性を発揮することができない。

慢性期

医科歯科・福祉連携(在宅訪問医療・歯科医療)

地域在宅訪問医療(地域医療)における
チーム医療の現状



チーム医療の教育

チーム医療を担う人材育成

昭和大学
学部連携教育

チーム医療を参加型で学習する体系的カリキュラムの構築 (平成18年度～)

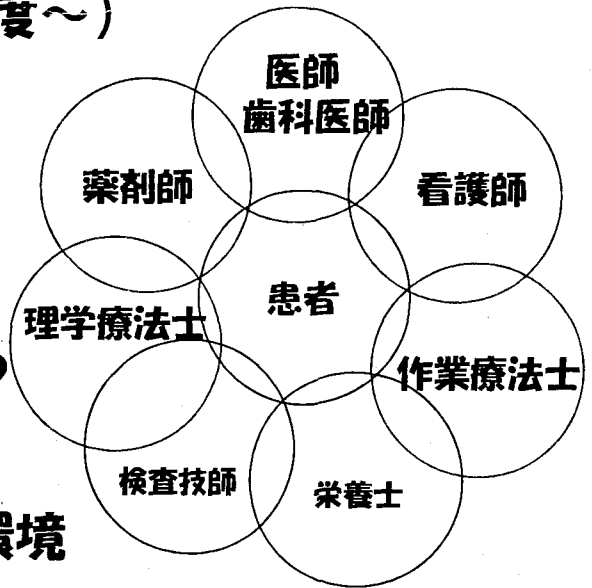
・医系総合大学

・教育理念

学部の枠を超えて共に学び、
患者に真心をこめて医療を行う

・1年次の全寮制教育

・チーム医療をチームで学べる環境



9

チーム医療の教育

チーム医療学習の体系的・ 段階的カリキュラム



➤低学年での基盤作り

大学内での学習・体験学習
PBLチュートリアル
シミュレーション実習
早期体験学習 など



➤高学年での実践力の修得

医療施設・地域社会での実践的学習

病棟実習
地域医療実習
専門領域別実習
実習体験に基づくPBLチュートリアル

看護学科 作業学科 薬学部



歯学部

医学部



10

医歯薬保
6年 4年
6年 4年
5年 4年
4年 2~3年
3年
2年
1年

- 「高度な専門性に基づくチーム医療を実現する」
専門領域別アドバンス病院実習
- 「地域社会で患者中心のチーム医療を実践する」
学部連携地域医療実習
- 「病院で患者中心のチーム医療を実践する」
学部連携病棟実習
- 「チーム医療実践の基盤を構築する」
病棟シミュレーション
学部連携型PBLチュートリアル
- 「チーム医療で患者と薬に目を向ける」
学部連携型PBLチュートリアル
救急・外科医療 体験実習
- 「医療・福祉のプロセスを体験する」
外来診療・病棟看護 体験学習
福祉・介護 体験学習
- 「医療人マインドの獲得と共感」
学部連携型PBLチュートリアル
初年次体験学習

専門性

連携型参加型学習
診療参加実習
体験実習
PBLチュートリアル
グループ討議
調査・発表 など

医療人マインド

- 医学部
歯学部
薬学部
保健医療学部
- 附属8病院
学内実習室
- 地域病院
診療所
歯科診療所
地域薬局
看護ステーション
福祉施設
在宅
- 4学部教員
医師
歯科医師
薬剤師
看護師
作業療法士
理学療法士

ようしく願います患者さんにご挨拶



学部連携病棟実習

(M/D/P5年・N13年)

事例 2

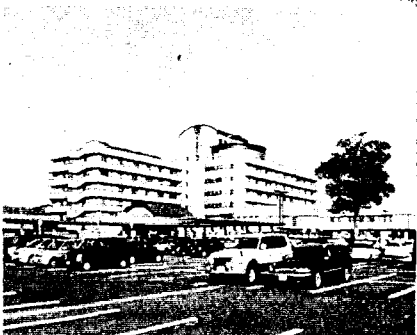
(鳥取市立病院)

13

鳥取市立病院では、入院患者・・・特に高齢患者やがん患者の口腔内管理を行う口腔ケア専門歯科を県内総合病院では初めて平成22年4月に新設した。



退院支援
カンファレンス



口腔ケア専門歯科を新設

鳥取市立病院

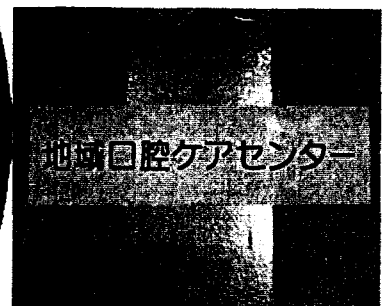
全身疾患の予防
状態把握や吸引、清掃
健康の維持向上

県内総合病院で初

きょうか
院内患者対



歯科スタッフ
歯科医師1名、看護師1名
歯科衛生士1名、医療事務2名

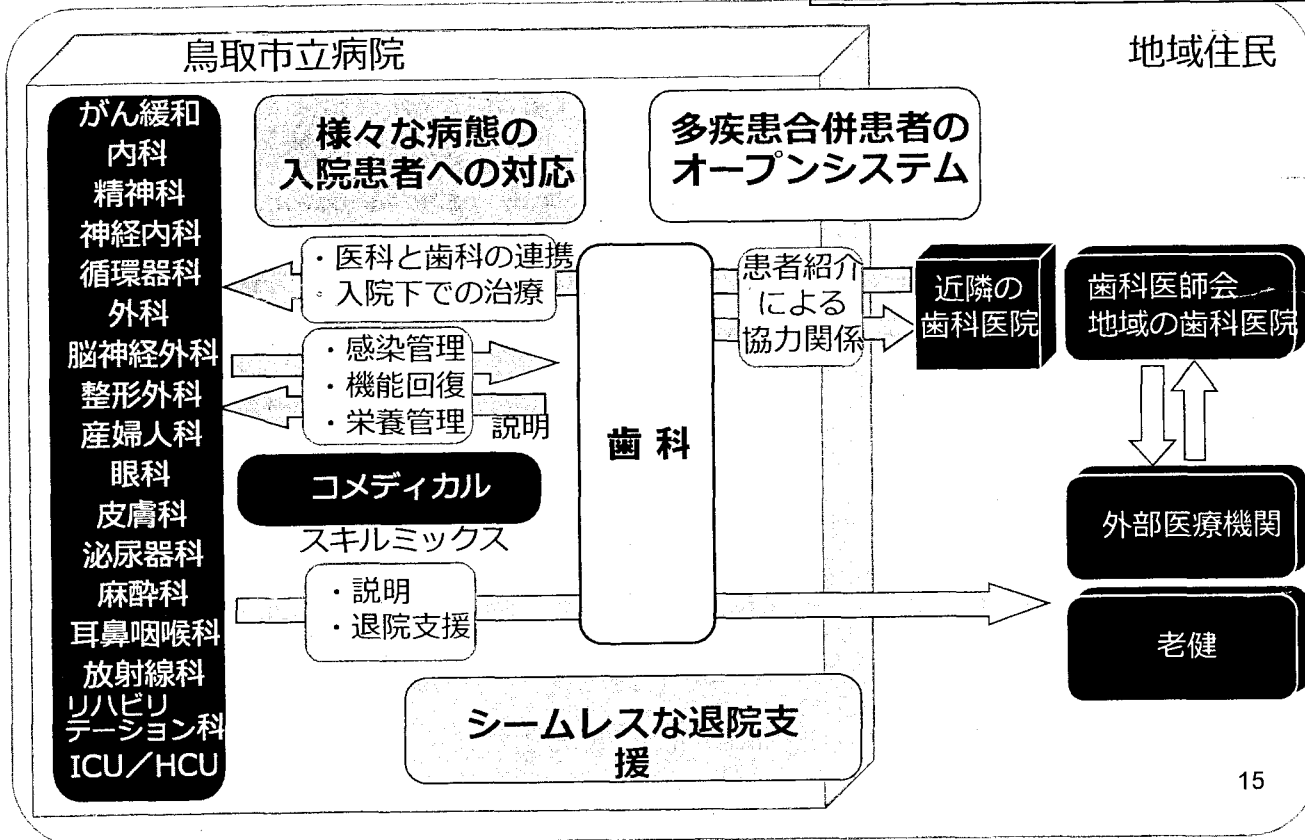


14

地域の市中病院の例

鳥取市立病院における歯科設立の意義

鳥取県東部の地域医療圏における役割



15

課題

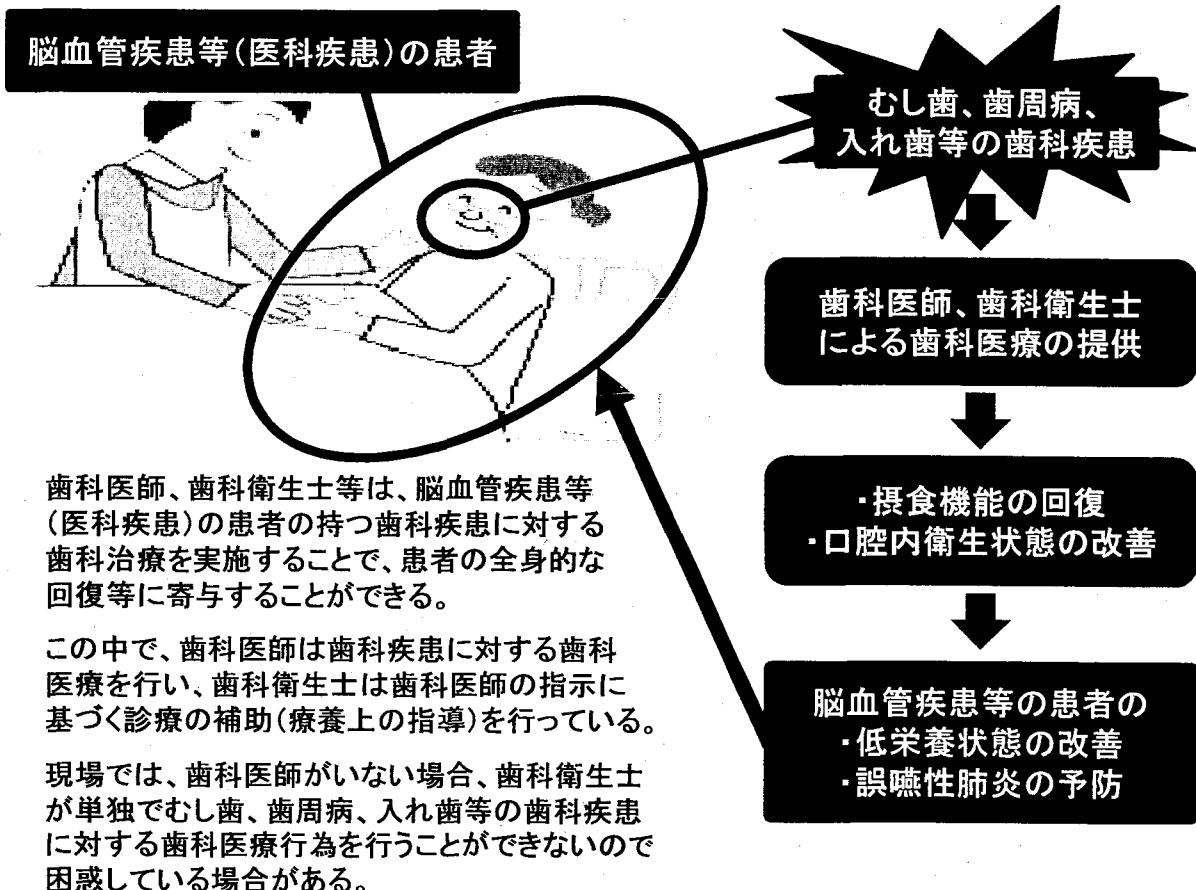
現状においてチーム医療を進めるためには

法的な問題点

1. 法的には医師が歯科衛生士にかかわるのは、歯科衛生士が保健指導を行う際、主治の医師として指示をする場合である。この場合、歯科衛生士は歯みがき等の一般的な口腔清掃しか実施・指導することができないため、歯科専門職としての専門性を発揮することができない。
2. 歯科衛生士が術後感染症及び術後肺炎等の発現の恐れがある場合に行う専門的な口腔清掃は、歯科医療行為であり歯科疾患に限定されている。歯科衛生士が医科疾患に対し、指導・診療の補助を行うことは医行為に該当するため違法となってしまう。
3. 歯科衛生士が「摂食・嚥下訓練」を行う場合は、歯科医療行為における「診療の補助行為」にあたるため、歯科医師の指示の下に実施されている。
4. 医科疾患患者の口腔内の疾病や口腔乾燥等の症状に対し、歯科衛生士の行う療養上の指導や歯科衛生実地指導は、歯科医師の指示が必要となる。

上記の諸点から、医科疾患患者へ歯科医師・歯科衛生士のアクセスを円滑にする施策が望まれる。

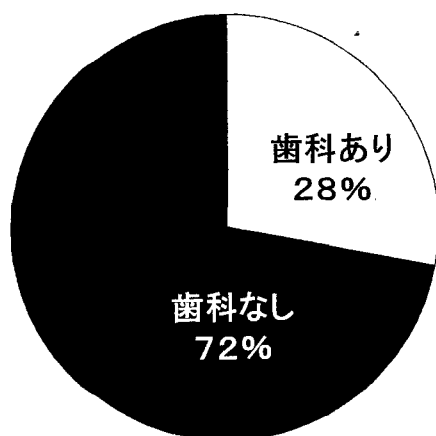
17



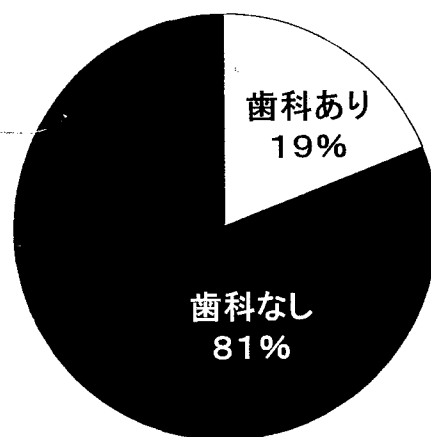
チーム医療には歯科衛生士だけでなく歯科医師の参画が必要！！

歯科等を標榜する病院

一般病院



精神科病院



最低でも一般病院のうち72%、精神科病院のうち81%は
歯科医療関係職種がないことが推測できる。

現状のままでは、病院内において
歯科医療関係職種がチーム医療に参画していくことは困難

医療施設調査(平成20年10月1日)

19

チーム医療の方向性と歯科医療

～医科・歯科の連携に向けて～

チーム医療を進めるために

1. チーム医療を推進していくためには、医科と歯科の連携が不可欠である。そのため、歯科に関する職種が配属されていない病院に、歯科医師および歯科衛生士を配置するための施策、例えば、診療報酬で評価する、病棟への配置基準を設定する等、が必要である。
2. 歯科衛生士が行う専門的な口腔清掃や摂食・嚥下訓練については、歯科医師の指示の下に歯科医療行為として実施されなければならない。したがって、病院等のチーム医療においては、病診連携も含め、歯科医師が、あるいは、歯科医師と歯科衛生士がともに参画することが必要である。
3. チーム医療をさらに推進していくためには、医科と歯科を含めた全ての医療関係職種が、それぞれの立場や役割について理解を深め、それぞれの専門性を尊重していくことが重要である。また、患者を中心として、全ての医療関係職種が相互に連携して、依頼・報告・評価等を円滑に遂行できるシステムを構築するには、²¹これらに資する教育や研修を継続して行っていく必要がある。

調査進行中

平成22年11月

病院でのチーム医療における歯科の係わりに関する調査

目的	病院で実施されている「チーム医療」における歯科医療関係職種の関与の実態把握をし、今後の施策の基礎資料とする。
調査対象	平成22年10月 独立行政法人 福祉医療機構のWAM NETに掲載されている全国病院
調査主体	日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構
調査時期	平成22年11月(病院実績については10月診療分)
調査期限	平成22年12月8日までに送付